令和８年(2026年)10月30日

報道関係　　各位

真庭市教育委員会

美作の中世山城連絡協議会主催

「高田城探訪会」講演会と登山会 を開催

【受付なし・先着順、無料】

日時▶　令和８年11月22日(日)　講演会　午前10時～
登山会　午後１時30分 ～

場所▶　講演会　真庭市立中央図書館(真庭市勝山 53-1)３階映像シアター
見学会　真庭市立中央図書館前 集合

岡山県北住民有志が結成している「美作の中世山城連絡協議会」から、講演会と登山会を開催するとの案内がありましたので、情報を提供します。

概要▶

１．日　　時　令和８年11月22日(日)
講演会　午前10時～11時
見学会　午後 1時30分～３時30分　少雨決行
※30分前から受付開始

２．場　　所　講演会　真庭市立中央図書館(真庭市勝山 53-1)３階映像シアター
見学会　真庭市立中央図書館前 集合

３．主　　催　美作の中世山城連絡協議会
共　　催　篠向山を愛し城址を大切にする会
後　　援　真庭市・真庭市教育委員会

４．内　　容　講演会　「中世山城「高田城」とその城下町」　※60名（先着）
講師　森　俊弘（真庭市教育委員会生涯学習課 参事）
登山会　講師　同　上　※60名（先着）

５．申し込み及び参加費　申し込み不要、参加費無料（見学参加者の傷害保険加入はありません）
※歩きやすい服装、靴、飲み物などを準備ください。


旭川から見た高田城と城下町

お問い合わせ先▶
美作の中世山城連絡協議会（事務局 長瀧）
TEL 090-9418-7150

発信元▶
教育委員会生涯学習課（担当　森）
TEL0867-42-1094　FAX0867-42-1416

美作西部の拠点城郭

高田城探訪会

～戦国時代の山城講演会と登山会の開催～

■日　程　2026 年 11 月 22 日（日）

■場　所　真庭市立中央図書館（真庭市勝山 53-1）

■定　員　先着 60 席

＊申し込みは不要です。

■参加費　無料　＊資料代 300 円

■講　師　森　俊弘　氏

（真庭市教育委員会生涯学習課参事）

第 1 部　山城講演会　＊申込不要

◇時間　9 時 30 分　受付開始

10 時～11 時　開会挨拶～講演

＊天候により山城登山会中止の場合は閉会挨拶

◇会場　真庭市立中央図書館 3 階　映像シアター

◇演題　中世山城「高田城」とその城下町

第2部　山城登山会　＊少雨決行

◇時間　13 時　受付開始

13 時 30 分～15 時 30 分　見学会

◇集合場所　真庭市中央図書館前

◇参加費　無料（傷害保険加入はありません）

＊中央図書館の駐車場をご利用ください。

＊歩きやすい服装、靴、飲み物などをご準備ください。

高田城とは　真庭市勝山

高田城は、真庭市勝山の町並みの背後にそびえる山城で、城山（312 m）とその南に繋がる太鼓山（260 m）に構えられていた。城主は高田庄を本拠とする国人三浦氏の当主貞連が最初の城主で、15 世紀末前後に築城されたと伝わる。三浦氏は尼子氏や毛利氏など近隣勢力と城の争奪戦を重ねた。

天正 3 年（1575）に三浦氏が退去した後は毛利、宇喜多、小早川、森の各氏などが支城（しじょう）として利用した。

その後、廃城となったが、明和元年（1764）に新たに入部した勝山藩の三浦明次が城山の麓に藩庁を構え、山上でも城郭整備を進めようとしたが、未完のまま明治時代を迎えた。



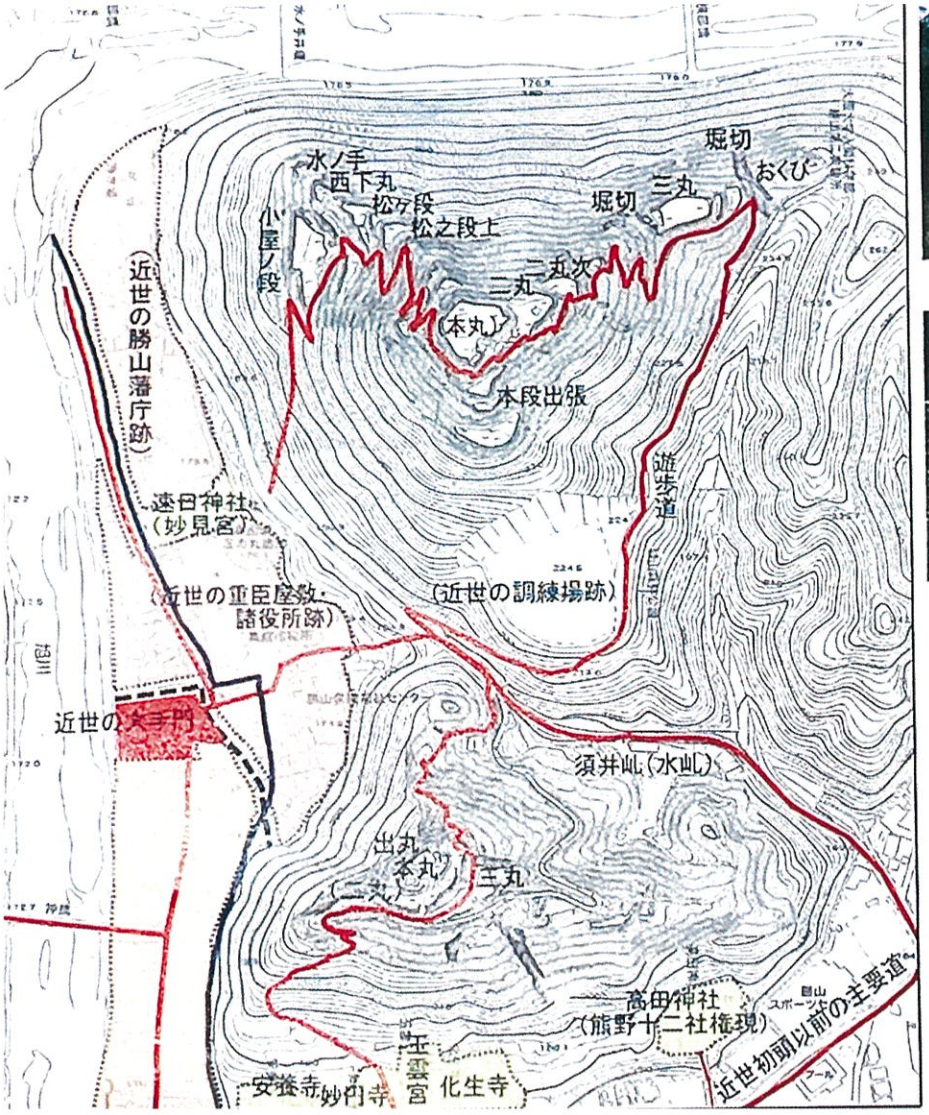
主催／**美作の中世山城連絡協議会**

共催／**篠向城を愛し城址を大切にする会**

後援／**真庭市・真庭市教育委員会**

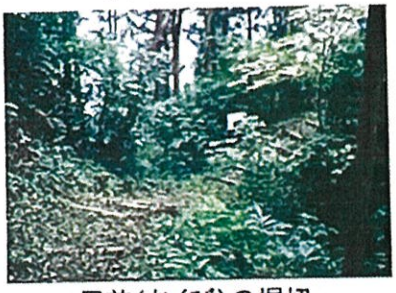
問合せ 事務局 長瀧　薫

電話　090-9418-7150





頂上の本丸跡



尾首(おくび)の堀切

高田城の実測図

高田城は、北側の如意山（にょいやま、城山、３１２メートル）と、南側の勝山（太鼓山、約２６０メートル）からなり、合わせて「大総山（おおつぶさやま）城」とも呼ばれていました。
山上では、山の尾根を削って平坦地とした多数の「曲輪（くるわ）」や、敵の侵入を防ぐ「堀切（ほりきり）」などで、城の守りを固めていました。

『真庭市指定史跡　高田城』2016　真庭市教育委員会より抜粋

城下町　勝山　散策メモ

◯町並み保存地区（岡山県指定第１号　1985 年）

勝山は現在の岡山県下で江戸時代に城を置くことが許された４つの町の１つ。江戸・明治・大正期の町家が今もあり、武家屋敷や高瀬舟発着場跡など往時の歴史を伝えるたたずまいが各所に残っている。

町並み保存地区に指定された出雲街道沿いには、白壁や格子窓の商家や民家、なまこ壁の土蔵といった伝統的な建造物が並ぶ。各家に掛かる 90 余りの『のれん』は個性豊かで、町並みを美しく彩っている。2009 年度には都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」（国土交通大臣賞）を受賞した。いま、「伝統的建造物群保存地区（伝建地区）」への取組みが始まっている。

◯高瀬舟発着場跡　2026 年度選奨土木遺産へ認定

勝山から岡山まで旭川を利用して、米や木炭、薪などの物資や人を運んだ高瀬舟の発着場跡が町裏に残る。勝山は旭川の最上流の発着場で、全長約 700 ㍍の石積みが現存している。



格子窓の建物などが残る町並み保存地区



全長 700 ㍍にわたり残る石積の舟発着場